

9月の学校風景～2年生の実習～

2年生の成人看護学実習Ⅱの実習風景です。残念ながら、コロナ感染症の影響で学内実習となりましたが、患者さん（教員がなりきっています）に対して、疾患や入院前の生活などを踏まえて患者さんのアセスメントを行い、必要であると考えてきた看護を実践しています。



【糖尿病の指導入院の患者さん】
患者役：真剣に話してくれているけど、
分かったような、分からないような…



【脳梗塞の患者さん】
学生：患者さんに説明していること、
ちゃんと伝わっているかなあ…



【肝硬変の患者さん】
学生：患者さんの想いを聞き出すって、
どうすれば良いのかなあ…

【慢性心不全の患者さん】
学生：心不全の患者さんって、テーブルに
身体をあずけると呼吸が楽になるんだ！！





【人工肛門を造設した患者さん】
学生：人工肛門の扱って、患者さんも不安だろうけど、私も不安だなあ…



【透析導入期の患者さん】
学生：自分たちの知識が無いと、患者さんに正しく伝えられないんだ！！

※写真が準備できませんでした。上記の他に、乳がんの患者さんと肺がんの患者さんにも看護を実践しました。



看護では実践後の振り返りが重要です。相手にとって、どんな援助になったのかな？



グループで振り返ることで、自分では気付かない点を教えてもらい、様々な視点での意見交換をすることで、学びが深まります。

